

施策番号	1001		
施策名	産業として魅力ある農林業の構築と担い手の育成		
概要	農林業経営の安定と向上に向けた取組や他産業との連携を行うとともに、市内農林産物に関する市民の理解を深め、地産地消を推進する。また、職業としての農林業の魅力を啓発し、担い手の育成を図る。		
担当局・部室	産業観光局・農林振興室	共管局・部室	
上位政策	10 農林業		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市農林行政基本方針		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		27年度	28年度	29年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者数(人)	a	a	201	205	225	91.1%	a	1.00
2	林業労働者数(人)	b	b	195	166	308	53.9%	c	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		27年度	28年度	29年度回答					
				そう思う	どちらかと言う とそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言う とそう思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	京都の農林業が魅力を増し、後継者や新たな担い手が育っている。	d	d	7	47	200	143	64	461
				1.5%	10.2%	43.4%	31.0%	13.9%	
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		d	d	市民生活実感調査総合評価					d

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					28年度	B
	重み付け	☒ 客観指標	b	☐ 市民の実感	d		
(重み付けの理由) 農林業に従事しない市民や農林業に関心のない市民にとっては、実感しにくい施策であり、客観指標評価を重視して評価することが妥当であると考えられるため						27年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・産業として、農林業者等への支援を主体とした事業を行っていたため、消費者である市民への発信が不足していたことから、市民生活において施策の達成度が実感されず、d評価となったと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		29年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		28年度 決算額	29年度 予算額		
1	水田農業構造改革対策事業(米の生産調整対策)	50,832	36,829	良い	産業観光局
2	有害鳥獣被害防止対策事業	26,947	24,074	かなり良い	産業観光局
3	農業改良	22,266	12,367	普通	産業観光局
4	生産緑地等振興対策事業	11,352	24,362	良い	産業観光局
5	畜産振興	2,762	2,840	良い	産業観光局
6	水産増殖	22,034	22,255	良い	産業観光局
7	森林整備事業	130,410	123,626	かなり良い	産業観光局
8	林業担い手対策事業	15,713	12,491	良い	産業観光局
9	林業・木材産業構造改革事業	4,965	3,665	かなり良い	産業観光局
10	新規就農総合支援事業	52,784	81,530	良い	産業観光局
11	担い手育成支援事業	61,165	48,691	普通	産業観光局
12	農林畜産産業金融対策	20,785	48,648	普通	産業観光局
13	京北農林業地域活性化促進事業	18,561	18,478	良い	産業観光局
14	京都京北未来かがやきビジョンの推進～京都“悠久の灯”プロジェクトの推進	4,121	3,429	悪い	産業観光局
15	木のあるまちづくりの推進～京都市内産木材の情報発信強化～	19,284	19,766	普通	産業観光局
16	総合獣害対策モデル事業	97,006	108,200	かなり良い	産業観光局
17	災害に強い森づくりの推進～集約的な森林整備に向けた新たな仕組みづくり～	0	10,798		産業観光局
18	京都らしい森づくりの推進～北部山間地域活性化プロジェクト～	0	18,266		産業観光局
19	京の食文化を支える京野菜の生産・流通・消費体制強化事業	15,019	0	かなり良い	産業観光局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・生産者と消費者が互いに顔が見える関係の構築、市内産農林産物に関する市民への情報提供、農林業と他産業との連携や6次産業化、担い手への森林施業の集約化など、生産・流通・消費を通じた対策を講じることで、農林業経営の安定化を図り、更なる農林業の振興を進める。

・作業効率の向上及び収益性の高い品目への転換等による、農林業経営の安定化を図り、職業として魅力を感じてもらえる農林業を再構築する。また、林業労働者に対しては、路網整備や機械化等への支援による労働環境の向上を図るとともに、新規就農者に対しては、資金的支援のほか、新規就農サポーターによる支援などの総合的な支援により、多様な担い手の育成に取り組む。

施策名	1001	産業として魅力ある農林業の構築と担い手の育成					
-----	------	------------------------	--	--	--	--	--

指標名	農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者数（人）						
-----	--------------------------	--	--	--	--	--	--

担当課	農政企画課	連絡先	2 2 2 - 3 3 5 1				
-----	-------	-----	-----------------	--	--	--	--

1 指標の説明

農業経営基盤強化促進法に基づき、本市が認定した効率的で安定した農業経営を目指す農業者の人数

2 指標の意味

農林業の活性化に向けた農業の担い手への支援状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	201	205	4人増	225	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成21年度現況値（168人）と京都市農林行政基本方針の目標数値（平成31年度250人）から各年度の目標数値を算出	91.1%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		250	31年度	82.0%	京都市農林行政基本方針	

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

当該指標については、社会経済情勢及び自然環境条件の影響度が高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

27	28	29
a	a	a

1 指標の説明

年間に30日以上林業労働に従事する者の人数

2 指標の意味

農林業の活性化に向けた林業の担い手への支援状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都府林業統計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度
数値	195	166	29人減	308	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成19年度現況値（224人）と京都市農林行政基本方針の目標数値（平成31年度350人）から各年度の目標数値を等差的に算出	53.9%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		350	31年度	47.4%	京都市農林行政基本方針	算定に用いるデータの収集期間の関係から、平成27年度値が最新となる。

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

当該指標については、社会経済情勢及び自然環境条件の影響度が高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

27	28	29
b	b	c